

大量発生している大型の蛾「マイマイガ」について

平成25年から平成26年にかけて、全国的にマイマイガの大量発生があり、上富良野町でも悩まされました。マイマイガは、約 10 年周期に大量発生しており、今年は例年より多くの個体を見かけます。

マイマイガは、幼虫時には体毛が人に触れると肌のかぶれ等を引き起こすことがありますが、成虫になると人体に害を与えないといわれています。ただし、鱗粉が皮膚や目に付くとかゆくなる場合があります。

成虫後の寿命は短く、7 日から 10 日間程度であり、大量発生は一時的なものと思われませんが、2～3年程度は発生が続きます。



【対策】

○成虫

1. 照明の消灯・交換

水銀灯や蛍光灯の明かりはマイマイガを誘引する原因となるため、消灯や、LED 照明への変更により、マイマイガが大量に集まるのを抑制する効果があるといわれています。

2. 殺虫剤

壁などに止まっているマイマイガには、市販のガ類用殺虫剤などで防除することで、卵塊を産み付けられることを防ぎます。マイマイガの発生を抑制するためには、卵の除去が効果的です。

○卵塊

ヘラのようなものではぎ取って、処分してください。除去できた卵は、そのまま土や砂利の上に放置しますと、春にはふ化しますので、**拾い集めて土中に埋めるか、ごみに出し処分**してください。

オススメは、**ペットボトルを半分に切ったもの**です(強炭酸水などが特に◎)。

除去した卵がペットボトルの中に落ち、手を汚さずに、そのままゴミ箱へ捨てることができます。

卵が凹凸の間に入っている場合は、**先をすぼめてグリグリ**します。

電灯など丸い柱はペットボトルを**面に押し当てて**滑らせると、ベリっつと剥がれます。



【ご協力をお願いします】

大型の蛾は、およそ 10 年周期で大量発生しており、来年も大量発生が予想されます。

ご家庭や管理している施設でも卵塊を見つけた場合は、処分していただきますようお願いいたします。